社 会 福 祉 法 人　津 山 福 祉 会

令和7年度　　事業報告

「人が好きだから　一生けんめい」

【　行動指針　】

津山福祉会の事業に従事する職員は、津山福祉会の理念に基づき次の事項を実践します。

- ご利用者を選びません。
- ご利用者を大切にし、権利擁護に努めます。
- お一人お一人の満足を目指します。
- 自己の提供するサービスに責任を持ちます。
- 自己の研鑽に努めます。
- 地域を大切にし、地域にお住いの高齢者の方、家族の方のご相談に親切に応じます。

▶ 重点項目

＊ ICTの導入による業務の効率化と生産性の向上
＊ 地域共生社会の実現に向けた地域づくり
＊ ターミナルステージを含む高齢者の自立した生活を支援する高い専門性
＊ 地域との連携
＊ イノベーション　～社会福祉・介護における新たな価値の創造～
＊ 地域と協働した災害体制の構築
＊ 高寿園サスティナブルな目標の実現

▶ サービスの質の向上

＊ 見守りセンサー等の活用により個々の生活リズムに合わせたケアを行います。
＊ 看取りケア指針の見直しと多職種協働によるケアとその評価システムの構築
＊ 経口維持等高齢者の自立の支援に資するケア
＊ 介護過程の展開に沿った根拠に基づくケア
＊ 個別のニーズの把握と支援計画に基づく多職種協働
＊ 担当指導者を中心としたグループによるきめ細かな新任者育成
＊ 育成担当者、リーダー等役割毎の成果の検証
＊ 円滑なサービス提供体制についての定期的な協議
＊ 事業実施状況及び経営状態の把握と課題の検討
＊ 研修の実施、受講、資格取得支援

▶ 地域との連携

＊ 地域への情報発信
＊ 地域センターを活用した地域交流事業の実施
＊ 「運営推進協議会」の設置

○ 介護保険事業

高齢化が進む社会の要請にこたえ、高齢者の尊厳の保持、意思決定の尊重を基本に、住み慣れた地域で安心・安全・健康な生活の継続を支援する施設として地域福祉の向上と実践に努めました。

ユニット型特別養護老人ホーム　80床　　ユニット型短期入所生活介護　19床
地域密着型通所介護　定員１０名

≪特別養護老人ホーム≫

【 運営方針 】

全てのご利用者に満足して頂ける高品質の生活支援サービスを提供します。
施設に入居しても暮らしと関わりの継続を目指します。

＊ 入居者の「暮らし」の継続の実現を目指したケアを提供します。
＊ 入居者個々の自己実現に対し積極的なアプローチを行います。
＊ 入居者の安全で快適で健康的な生活の実現を目指したサービスを提供します。
＊ 地域に親しまれる施設作りを目指し、地域と密着したサービスを提供します。

＊ 職員配置（令和8.3.31）

職　　名	人　　数	職　　名	人　　数
施設長	1	音楽療法士	0.4
生活相談員	1	管理栄養士・栄養士	1
介護士	32	調理職員	2.6
介護福祉士	(24.0)	嘱託医	0.1
介護支援専門員	2	事務員	2.6
看護職員	5.1	外国人労働者	5
機能訓練指導員	2.1	運転手･環境整備員	5.3
歯科衛生士	0.2		

※人数は常勤換算により計算　　（　）は再掲

＊ **医療連携**

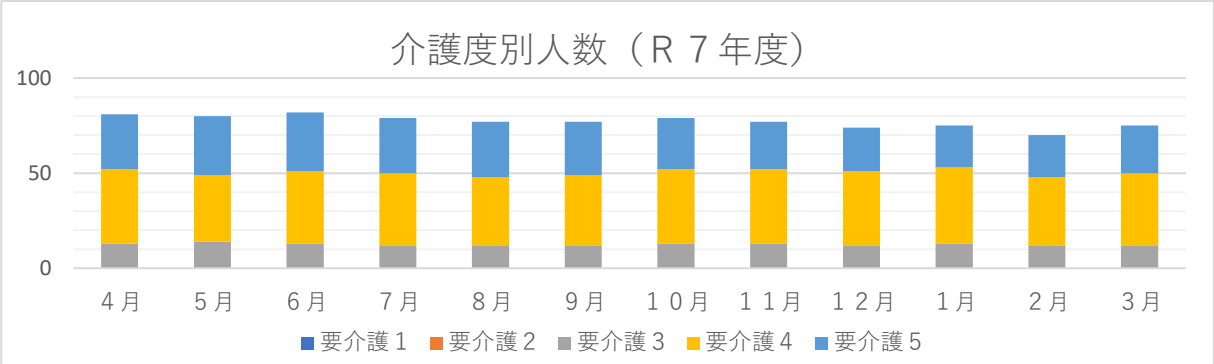
- 嘱託医
  大海　宏暢　（おおうみクリニック）　　隔週　木曜日回診
  中島　弘文　（中島病院）　　隔週　水曜日回診
- 産業医
  大海　庸世　（おおうみクリニック）
- 協力医師
  赤枝　輝明　（津山東クリニック　：　内科、泌尿器科）
- 協力医療機関
  中島病院　　（内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科等）
  積善病院　　（精神科、神経科、内科、歯科）
  津山第一病院　　（消化器科、循環器科、整形外科等）
  近光整形外科　　（整形外科）
  日本原病院　　（内科、神経内科、循環器内科等）

・ 協力歯科医療機関
内田歯科クリニック
秋山歯科
たかくら西歯科医院

＊ リーガルサポート　竹内俊一弁護士事務所
神田労務コンサルティング
税理士法人　LEGARE

○ 入居者状況

提供年月日	入居実延べ日数（上段）／人数（下段）					
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和7年 4月	0	0	315	1,070	818	2,203
	0	0	13	39	29	81
5月	0	0	422	1,040	851	2,313
	0	0	14	35	31	80
6月	0	0	390	1,017	903	2,310
	0	0	13	38	31	82
7月	0	0	327	1,113	869	2,309
	0	0	12	38	29	79
8月	0	0	347	1,070	763	2,180
	0	0	12	36	29	77
9月	0	0	360	1,086	795	2,241
	0	0	12	37	28	77
10月	0	0	390	1,150	803	2,343
	0	0	13	39	27	79
11月	0	0	353	1,137	704	2,194
	0	0	13	39	25	77
12月	0	0	348	1,176	686	2,210
	0	0	12	39	23	74
令和8年 1月	0	0	362	1,134	654	2,150
	0	0	13	40	22	75
2月	0	0	325	959	592	1,876
	0	0	12	36	22	70
3月	0	0	350	1,061	700	2,111
	0	0	12	38	25	75
合　　計	0	0	4,289	13,013	9,138	26,440
	0	0	151	454	321	926



月別入・退居者数

令和６年度末現員	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	令和７年度末現員
80	入　居	1	2	3	1	1	2	3	1	1	3	0	5	23	75
	退　居	1	3	3	2	1	4	2	3	3	3	2	1	28	

市町村別(R8.3.31現在)

市町村名	津山市	美作市	真庭市	鏡野町	勝央町	奈義町	美咲町	合　計
人数	64	1	1	5	2	1	1	75

年齢と性別(R8.3.31現在)

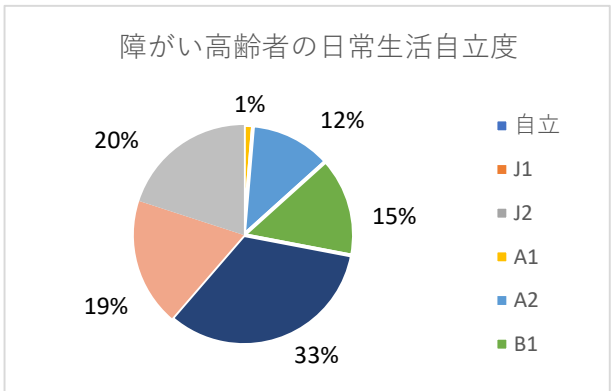
	60歳未満	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100歳以上	合計	平均年齢
男性	0	0	0	1	2	2	4	6	2	0	17	88
女性	0	0	0	1	7	4	17	13	14	2	58	89
合計	0	0	0	2	9	6	21	19	16	2	75	89

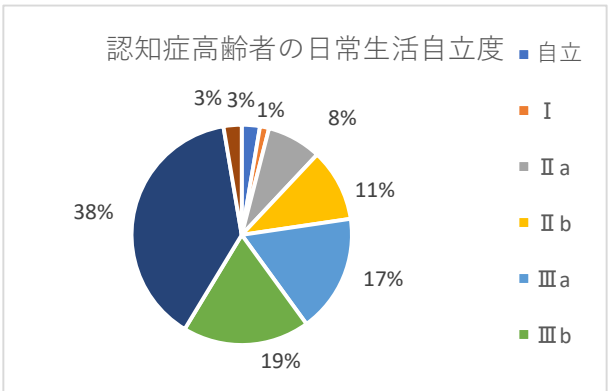
障がい高齢者の日常生活自立度(R8.3.31現在)　　※ その他：更新中

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	その他	合計
人数	0	0	0	1	9	11	25	14	15	0	75

認知症高齢者の日常生活自立度(R8.3.31現在)

	自立	Ⅰ	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	その他	合計
人数	2	1	6	8	13	14	29	2	0	75





入居者介護状況（日常生活動作）

日常生活動作		人数	日常生活動作		人数
移動	車椅子	69	排泄	おむつ	26
	歩行（補助具あり）	4		トイレ（日中のみ）	41
	歩行	3		トイレ（常時）	9

日常生活動作		人数	日常生活動作		人数
食事	全介助	11	入浴	特浴	23
	一部介助	12		中間浴	0
	自立	46		個浴（リフト）	24
	経管栄養	7		個浴	29

在所期間(R8.3.31現在)

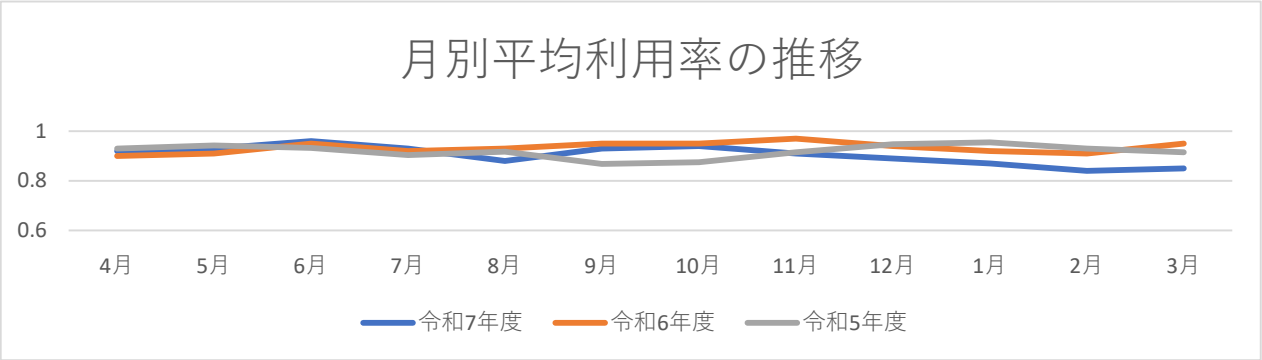
	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～	合計	平均在所期間
男性	6	8	3	0	0	17	1年6ヶ月
女性	16	25	9	6	2	58	2年8ヶ月
合計	22	33	12	6	2	75	2年5ヶ月

退居者内訳（性別）

男性	女性	合計
9	19	28

退居者内訳（区分）

死亡	入院	在宅	他施設	合計
15	12	0	1	28



≪短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護≫

【 運営方針 】

おもてなしの姿勢でお迎えして、ご利用者ご家族ともに満足・安心していただける心のこもった質の高いサービスを提供します。

在宅での生活の継続の支援を基本に、ご利用者の機能向上を目指します。

ご利用者とご家族の意向を大切に、心と身体の支えとなる支援を目指します。

＊ ご利用者が望む生活の実現のための個別ケアの向上に努めます。

＊ ご利用者の自立を支援し、来園時より良い状態でお帰りいただくことを目指します。

＊ 心身機能の把握と危険を予測して事故を回避するケアに努めます。

＊ 状態に応じてケアを見直して、適切なケアを提供します。

＊ 状態の把握と異常の早期発見に努め、健康管理、感染予防策の徹底を図ります。

＊ 食事形態、喫食状況、体重変化等の状態を把握し、個々にあった楽しくおいしい食事からの健康づくりを目指します。

＊ 職員のチームワークを重視してケアの資質向上に努めます。

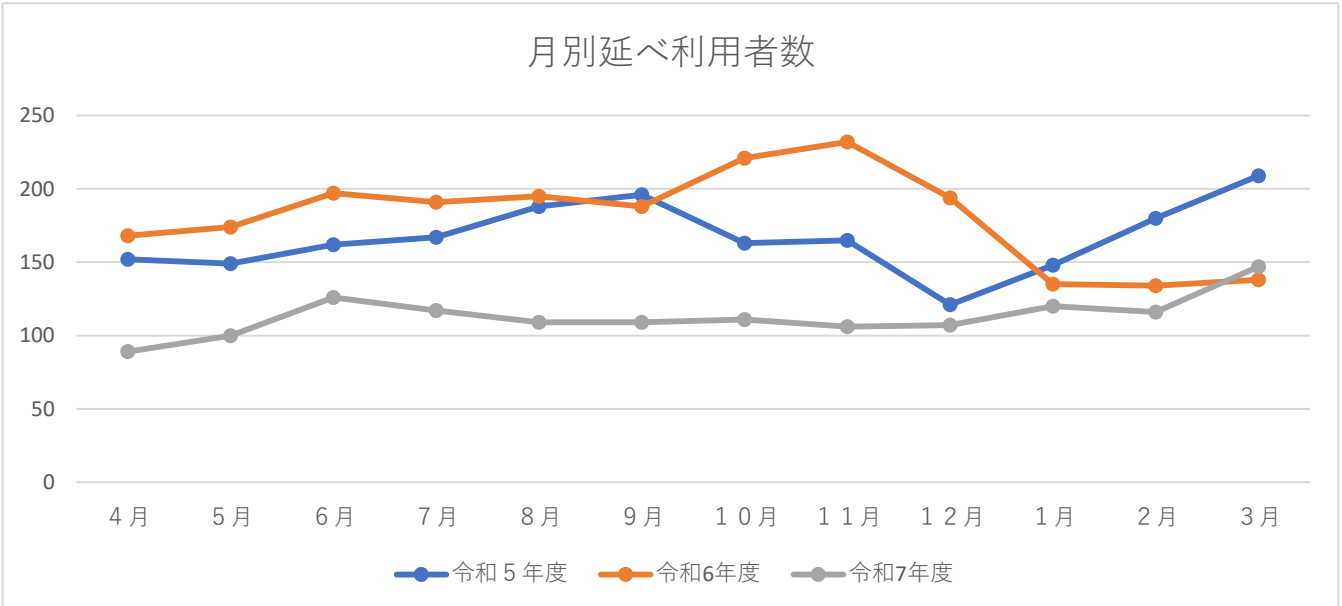
＊ ショート職員配置（R8.3.31）

職　　名	人　　数	職　　名	人　　数
管理者	1（特養兼務）	生活相談員	1（特養兼務）
介護士	3.4	介護支援専門員	1（特養兼務）
介護福祉士	（3.4）	看護職員・調理員	特養兼務

※人数は常勤換算により計算　　（　）は再掲

○ ショートステイサービス利用状況

	入所実延べ日数（上段）／人数（下段）							
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合 計
R7年 4月	0	0	16	13	44	7	9	89
	0	0	3	4	3	2	1	13
5月	4	0	2	17	49	15	13	100
	1	0	1	3	4	2	1	12
6月	10	0	10	22	49	23	12	126
	2	0	2	4	5	3	1	17
7月	0	0	21	16	45	29	6	117
	0	0	2	3	4	3	1	13
8月	0	3	2	21	49	34	0	109
	0	1	1	4	5	3	0	14
9月	0	0	5	21	51	32	0	109
	0	0	2	4	5	3	0	14
10月	0	0	8	32	42	29	0	111
	0	0	2	5	3	3	0	13
11月	0	0	7	30	44	25	0	106
	0	0	2	5	3	2	0	12
12月	0	0	7	25	45	30	0	107
	0	0	2	5	4	3	0	14
R8年 1月	0	0	14	34	41	31	0	120
	0	0	3	6	3	3	0	15
2月	0	0	8	41	37	30	0	116
	0	0	3	6	2	3	0	14
3月	0	3	34	46	35	29	0	147
	0	1	4	6	2	3	0	16
合　計	14	6	134	318	531	314	40	1357
	3	2	27	55	43	33	4	167



＊ ショートステイ利用の充足

- 新規利用者数　8 件
- 居宅サービス担当者会議出席　14 件
- 新規利用前ミニカンファレンス　5 件
- 緊急時のショートステイ利用の相談体制を整え、要請に応じて受け入れを行いました。

≪地域密着型通所介護・介護予防通所介護≫

住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」が継続できるよう、丁寧なアセスメントを行い、個々のニーズに合ったサービスを提供できるよう努めました。身体機能（筋力）の維持・向上が図れるアクティビティや認知症予防を目的としたレクリエーション等のプログラムを取り入れ、楽しみながら心身の活性化が図れるよう支援しました。他事業所との情報共有・連携を密に取り、ご利用者・ご家族が安心して在宅生活が送れるよう、また感染症予防を徹底し、安心・安全なサービス提供に努めました。

○ 職員配置（令和8年3月31日現在）

職名	人　数
管理者	1（特養兼務）
生活相談員	1
介護士	1
機能訓練指導員	1（特養兼務）
運転手	1（特養兼務）

○ 定員及びサービス提供日時

① 定　員　：　地域密着型通所介護＋介護予防通所介護　10名／日

② 営業日　：　月・水・木・金曜日(12/31～1/3は除く)

③ サービス提供時間　：　9:30 ～ 15:30

○ 提供サービス内容

① 送迎　② 健康チェック　③ 入浴　④ 食事　⑤ 個々に必要な身体介護

⑥ 機能訓練 ⑦ アクティビティ ⑧ 生活相談

○ 利用者状況（令和8年3月31日現在）

① 年齢と性別　（人）

性別＼年齢	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合　計
男　性	0	2	1	1	0	0	4
女　性	0	0	1	1	2	2	6
合　計	0	2	2	2	2	2	10

② 介護度区分　（人）

介護度	要支援１	要支援２	要介護１	要介護2	要介護3	要介護4	要介護５	合　計
人　数	0	1	5	3	1	0	0	10

○ 月別利用状況（延べ利用者数）

区分／月	要支援		要介護					利用者数	
	1	2	1	2	3	4	5	合計	1日平均
4月	0	7	24	39	0	13	0	83	4.9
5月	0	0	34	38	0	13	0	85	4.7
6月	0	8	35	39	0	6	0	88	5.2
7月	0	7	36	58	0	0	0	101	5.6
8月	0	8	30	62	0	0	0	100	5.9
9月	0	8	34	62	0	0	0	104	6.1
10月	0	8	36	69	0	0	0	113	5.9
11月	0	7	25	59	0	0	0	91	5.7
12月	0	2	30	31	6	0	0	69	4.1
1月	0	8	32	27	0	0	0	67	4.2
2月	0	7	35	30	6	0	0	78	4.9
3月	0	7	36	30	8	0	0	81	4.8
合計	0	77	387	544	20	32	0	1060	5.2

≪法人≫

○ サービス調整会議　～ご利用者の満足の為に～　　1回開催／月

＊ 事業全般のサービス向上

・身体拘束適正化　・事故防止　・感染症及び食中毒まん延防止　・褥瘡ケア
・衛生管理　・苦情対応　・広報・行事企画　・地域交流事業
・ワーク･ライフ･バランス　・各委員会、チーム活動報告

＊ 委員会・班活動

全職員参加による委員会及びチームを設置し、質の向上や課題への対応、新たな取り組みをすすめました。

- リスクマネジメント委員会　・ アクティビティチーム
- ケア向上委員会（排泄褥瘡予防・認知症ケア・看取りケアの３チーム）

※ 別紙3（委員会活動報告）

○ 組織強化

＊ 組織強化ミーティングの開催　　毎月１回開催

社会保険労務士をコンサルタントとして、組織体制の強化、各部門の役割分担と連携、事業展開、地域貢献活動の構築等について検討を行いました。

- 事業の方向性、各部門の役割と連携、経営者の果たす役割について
- 組織体制の強化　・ 人材の確保、労働環境の整備　・ 人事評価システム

○ 「ワーク・ライフ・バランス」の推進　～働き続けやすい事業所を目指して～

＊ 両立支援事業

- おかやま子育て応援宣言企業　登録　　平成28年8月1日（登録証第28008号）
- 津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業　認定　平成29年4月1日
- おかやま子育て応援宣言企業「アドバンス企業」認定　令和3年12月28日

- 女性活躍推進法一般事業主「えるぼし」認定　認定段階２　令和５年11月16日
- おかやま子育てしやすい職場アワード　受賞　令和７年2月７日
- 日本創生のための将来世代応援知事同盟「最優秀将来世代応援企業賞」受賞
  令和7年5月30日
- 働きやすい職場環境づくり「厚生労働大臣奨励賞」　受賞　令和７年８月２７日
- 次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定　令和７年１１月１３日
- 両立支援委員会　　（委員16名）

  職員が仕事と家庭の両立ができ、意欲的に働き続けられる職場環境について検討しました。

開催日	協　議　題	出席者
R7.4.22	次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画 女性活躍推進法に基づく行動計画 策定のスケジュールについて	4名
R7.5.15	次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画（案） 女性活躍推進法に基づく行動計画（案）　について	8名
R7.6.12	次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画 女性活躍推進法に基づく行動計画　について	6名
R8.2.13	高寿園プレママ～ベビStについて 職場の働きやすさについて検討	5名

- 子どもスタッフ

  長期休暇等に子どもとともに出勤し、親の職場や仕事に触れる機会を作りました。勉強の時間と遊び、行事の手伝いなどの時間を分けメリハリのある生活を送りながら、施設内に明るい笑顔を広げてくれました。

＊ メンタルヘルスケア（心の健康づくり）

- メンタルヘルスミニ講座　　毎月１回
- ストレスチェックの実施

  令和7年11月22日～12月15日　　実施者　10名

  結果について産業医と共有し、職員のストレスをサポートする体制を整えました。

＊ ハラスメント対策の強化

- 職場におけるハラスメントを防止するため、事業所の責務、職員が遵守すべき事項を定め周知啓発を行いました。

  マニュアルの作成、相談窓口の設置

＊ テレワークの実施

多様な働き方の実現と感染症対策をしながら働き続けられる環境整備を行い、在宅勤務を中心としたテレワークを実施しました。

＊ 高年齢者活躍企業

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰　特別賞　受賞　令和５年９月

高齢となっても自分の持ち味を生かしいきいきと働くことができる職場づくりをすすめました。

○ 職員研修システム

法人内における研修

＊ 各分野における研修

開催日	研修会名	講　師	参加者数
R7.4.30	事故防止研修会	安全管理対策委員会	33名 伝達研修 35名
R7.6.9	感染管理実地研修	岡山県医師会	25名 伝達研修 42名

開催日	研修会名	講　師	参加者数
R7.6.30	身体拘束防止研修	施設長	22名 伝達研修 40名
R7.7.1	食中毒の予防と手洗いの方法	美作保健所職員	22名
R7.7.9	車いす上の姿勢とクッションの活用性	（株）リョーキ職員	13名 外部４名
R7.8.6	事故の振り返り研修会	安全管理対策委員会	23名
R7.8.29	認知症及び認知症ケア研修	認知症ケアチーム	19名 伝達研修 31名
R7.9.25～26	口腔ケア研修	（株）クロスケア デンタル 歯科医師	34名 伝達研修 18名
R7.9.30	事故の振り返り研修会	安全管理対策委員会	21名 伝達研修 36名
R7.10.16	救命講習会	津山圏域消防組合	16名
R7.11.28	感染症対策研修（ノロウイルス）	看護師長	16名 レポート 33名
R8.1.30	看取りについて	看護師長	20名 伝達研修 33名

＊ 新任者研修

開催日	主な研修内容	時間(分)	講　師	参加人数
R7.4.1 ～4.9	オリエンテーション、グループワーク 法人理念、事業計画・組織、就業規則	60	局長	2名
	岡山県の社会福祉	45	理事長	
	社会人としてのマナー、身だしなみ、コロナ対応等	60	介護士長	
	キントーン・ケアカルテ・ハナストの使い方 評価システム、尊厳・社会の理解 （講義・演習）安全な介護・生活の中に危険、事故防止 なぜなぜ分析、事故報告書、ひやりとハット入力の方法 リスクマネジメント、記録・事故報の書き方	60	Solution課長	
	食事・嚥下の理解、食事中の事故対策、感染対策、基本の知識と技術、衛生管理、日常ルール、コロナ対応、 感染症発生時の対応（実技）感染症対応、PPE・手洗い・手指消毒・介護者の心とからだの健康、終末期の理解、看取りケア等（講義・実技）緊急時対応、オンコール、ドクターメイト	120	看護師長 介護士長	
	多職種連携チームアプローチ、ケアプラン	60	介護支援課長	
	車椅子操作	60	作業療法士	
	リフト操作	60	Solution課長 ユニットリーダー	
R7.5.1	要介護高齢者の口腔衛生管理について	60	歯科衛生士	
総時間数		585		

＊ 外部研修

認知症介護基礎研修、感染症対策研修会、虐待防止等ケアのスキルアップに資する研修を対面、オンライン等で受講をしました。　※別紙3（研修等一覧）

○ 第三者委員会の開催

本事業所に対する入居者、家族等からの苦情に適切に対応する体制を整えるため第三者委員会を設置しています。年度内の苦情の受付内容と、事故の内容・件数等の報告を行い助言をいただきました。

開催日　：令和7年６月5日（木）
出席者　：第三者委員、理事長、施設長、事務局長、看護師長、介護士長、介護支援課長、Solution課長
内　容　：苦情の内容及び対応について、事故報告について
第三者委員：弁護士、サンシティうぐいす施設長、津山福祉会監事

安全管理

○ 感染症・食中毒の予防及びまん延防止

- 感染症や食中毒の発生を予防し、入居者・利用者に必要なサービスが安定的、継続的に提供できる体制の構築をすすめました。
- 職員への周知及び研修会の開催を行いました。
- 厚生労働省等の発出するガイドライン等の周知と感染予防に努めました。
- 入居者、利用者への日々のバイタル測定を実施し、健康管理を行いました。
- 環境整備、換気の実施、定期的な消毒に努めました。

○ ノーリフティングケア

- 入居者がより安全で安心した支援が受けられるよう入居者に合ったリフトを選定し日常生活動作の維持、向上につなげました。
- スタンディングリフトを活用して安心、安全、安楽な移乗を行い、離床の機会を増やしQOLの向上に努めました。
- 正しい座位、立位を確保し寝たきり状態を防ぎました。

○ 防災対策

＊ 自主組織による防災訓練の実施

実施日	避難訓練･講習等	講師･協力	職　員
R7.5.9	消火訓練・避難訓練 ・消火用散水栓放水･消火器による消火訓練 ・避難経路の確認	㈱ガット２名	12
R7.11.12	消火訓練・避難訓練 ・消火用散水栓放水･消火器による消火訓練 ・避難経路の確認	㈱ガット２名	16
R8.3.10	避難訓練(夜間想定) ・夜間における安全で迅速な避難誘導の机上訓練	仁木局長	28

居室等の電気設備点検　　月１回　　備蓄品（飲料水・食品等）の確保と管理

＊ 福祉避難所の整備

津山市から「災害時に要援護者の福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」に基づき福祉避難所の指定を受け、緊急時に備えました。

＊ 地域防災組織との協力体制の整備

令和7年12月7日　　合同防災訓練

○ 事故防止・リスクマネジメント

- 事故防止と身体拘束適正化の取り組みを行い、安心して生活できる環境づくりと自立の支援に努めました。事故発生防止と再発防止を適切に行うため、安全対策担当者を配置し、ユニットや専門職、多職種協働のカンファレンスを行い、多様な視点で事故の要因を探り事故の再発防止に努めました。また、ユニット内で起こった事故は、全ユニット、スタッフに伝達し、事故内容・対応策を共有する事で事故防止を働きかけました。

- 入居者の自立した生活の支援のために必要な事項、取り組みの状況をユニット間で共有し、課題の解決に向けて協議しました。入居者の状態変化に伴うカンファレンス、事故発生後の再発防止カンファレンスを随時開催しました。安全対策担当者を交えたカンファレンスでは、なぜなぜ分析を活用して、真の原因を究明して問題の解決を図り再発防止に力を入れました。

・ リスクマネジメント委員会

毎月の委員会活動では、各ユニットの事例をもとに多角的な視点で原因分析と対応策の検討ができるよう、学びの機会を設けました。

研修会では、実際の事故事例をもとに施設全体で「事故原因の分析」「再発防止策」等を考える機会を設け、事故の再発防止に努めました。

事故状況の統計をとり、全職員へ周知しました。

委員会の開催：月１回　　研修の開催　：年3回

・ 事故件数：６件

事故内容	件数
転倒	1
転落	3
誤薬・与薬漏れ等	1
その他（食物の喉づまり）	1
合計件数	6

・ ヒヤリ件数：90件

特養				ショート		デイ	
ヒヤリ内容	件数	ヒヤリ内容	件数	ヒヤリ内容	件数	ヒヤリ内容	件数
転倒	6	誤薬・与薬漏れ	4	その他	5	その他	2
転落	6	打撲	1				
ずり落ち	13	その他	40				
表皮剥離・出血	13	合計	83	合計	5	合計	2

*（内訳）器具・備品等の破損や紛失、服薬の確認漏れ、不要な下剤の投与、バルーンの繋ぎ忘れ、入居者間での食事のやりとり、利用者所持品の破損、スタンディングリフトの操作誤り、配膳食数の誤り・配膳漏れ、ポリデントの誤飲、利用者所持品の返却漏れ、書類の渡し漏れ、湯沸かしの押し忘れ、一人で部屋の外へ行く、利用料の誤徴収・請求漏れ

・ 事故・ヒヤリ　カンファレンス回数：138回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故・ヒヤリ		8	7	14	12	5	4	4	8	8	6	14	8	98
	特養	8	6	14	10	5	3	4	5	7	6	14	8	90
	ショート		1				1		3	1				6
	デイ				2									2

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カンファレンス		12	8	17	17	8	10	5	8	10	10	18	15	138
	特養	12	7	17	16	8	8	5	3	9	10	18	15	128
	ショート		1				2		5	1				9
	デイ				1									1

○ 身体拘束適正化と虐待防止

- 利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識をもち、身体拘束をしないケアの実施に努めました。

- 第三者が違和感を感じるケアについて声を出し合い、不適切なケアを振り返るきっかけを作りました。見て見ぬふりをせず、お互いを思いやるチーム作りをしました。

  - 委員　施設長、事務局長、看護師長、介護士長、介護支援専門員、相談員、作業療法士、管理栄養士、通所管理者

  - 委員会　毎月1回開催　　- 研修会の開催（別掲）

○ 介護ICTの推進

新たなICT機器（生態モニタリング機能を持つ見守りセンサーとモバイル・音声入力対応の介護記録システム）の導入と全館にわたるWi-Fi環境の整備を行い、介護業務の効率化を図るとともに、多様な職員の働きやすさと入居者の個々の生活リズムに合わせたケアの実現を目指しました。

介護ICTの導入による効率化で生まれた時間を活用し、音楽療法による集団療法、

アクティビティ委員会、専門職による集団アクティビティを実施しました。

- おかやまDX経営力大賞　優秀賞　受賞　令和７年11月20日

○ 高寿園SDGｓの取り組み

キャッチフレーズ　「小さな変化を楽しむ」

目標

1 地球環境や社会の課題に求められる「責任ある行動」をもつ職員が育ち、サスティナブルな福祉経営を実現します。

2 サスティナブルな取り組みを企画実施していくことから、住み続けられる街づくりを実行できるようなカをもちます。

3 誰もが喜びを分かち合い活き活きと暮らす地域共生社会の実現へ多種多様な文化・価値を尊重し、理解し合い、差別をなくすなど、様々な立場の人の声に耳を傾け、ニーズを理解して、一人ひとりが実践できることを考えます。

- エコキャップ運動

  ペットボトルのキャップ回収ボックスを設置し、集まったキャップをエコキャップ推進協会に送付しました。

- フードロスをなくそう

  「食品ロス削減月間」を中心に、食品を無駄にしない・作りすぎない・買いすぎないことを周知し食品ロス削減の啓発を行ました。

- 節電の取り組み

  クールビズやウォームビズを推奨し節電に努めました。

○ 広報活動

入居者・利用者のお過ごしの様子、スタッフの取り組み等、イベントの紹介や日常の様子の発信を随時行い、広く高寿園を知っていただけるよう広報活動に努めました。

- 高寿園だよりの発行　　2回／年
- ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの更新　随時
- 研修等講師、外部団体のイベント等への派遣、参加
- キントーンを活用し、クラウド上に入居者個々のアルバムを作成し複数の家族に閲覧いただける仕組み「自分ページ」を公開しました。

○ 介護

＊ 特養

入居者一人ひとりに満足・安心していただけるように、心身の状況、性格、適応性、理解力等を正確に把握するよう努め、施設サービス計画書（ケアプラン）に基づく統一されたケアの実施に努めました。

また日常の生活を記録して職員間で共有し、支援目標やケアの見直しを行うなど、より適切なケアを追求しました。

暮らしの継続を基本とするケアを目標に、入居者の気持ちを尊重した関わりを行いました。

ご家族との関係性の継続や関りを大切にご家族と連絡を密に行い、ご家族と連携して一人ひとりの入居者を支えました。

個別ケアの充実を図るため２４Ｈシートの更新を行ない適切なケアを提供しました。

決められたルールを守り、事故やひやりハットの再発防止に努めました。

清潔な環境の中で居心地の良い暮らしと働きやすい環境を作りました。

リフトの更なる活用にて排泄と入浴ケアの質を高め、個々のQOLの向上を図りました。

人員確保の厳しさが続く中、職員間の連携を図りチームワークを高めてケアを提供しました。

油断のできない高齢者施設の感染対策では、基本的な感染対策が習得でき、迅速な初期対応と徹底した感染対策で感染拡大防止ができました。

＊ 入居者が望む生活の実現と個別ケアの実施

入居者をお迎えする段階から、アセスメントを十分に行い、その人らしさを追求したケアを検討しました。

入居後は多職種が連携して、ケアプランに基づいたケアを展開しました。

毎月の「生活のご様子」をご家族へ発送しました。

＊ 入居者一人ひとりのかけがえのない生命の確保

水、食事、排便、運動を基本として、介護の専門職として根拠に基づいたケアを実施しました。

- 一日1,500～2,000cc以上の目標を設定して、個々の嗜好や個別の時間帯や量を把握して、目標達成できるよう工夫をしました。
- 自然な排便が行えるように、薬剤に頼らないケアを行いました。
- 食事の常食化への移行と維持に取り組みました。

＊ 入居者が意欲を持ち生きる喜びを感じてもらえる支援

食事目的の離床にとどまらず、日中のアクティビティをユニット単位で工夫しました。

生活の中で楽しみを見いだし生きる喜びや意欲につながる支援を行いました。

また、ユニットの外での入居者間や職員との交流の場を作りました。

- ユニット外へのお出掛け
- サンルームでのカラオケ
- 施設全体の行事に向けての作品出展

・ ユニット体操
・ ユニットレク

＊ 入居者の生活に潤いを与えて豊かにする支援

ユニット内でのレク活動、施設全体の行事開催や日々の温かい関わりを大切にして、希望のある楽しい暮らしを支援しました。

移動スーパーやパン屋の訪問販売は、買い物に出かけて選ぶ楽しみを感じ、訪問理美容師が訪れるヘアサロンでは、お気に入りのカットやカラーをしてもらい、おしゃれをしに出かける楽しみも感じていただきました。

・ とくし丸（移動スーパー）　毎週金曜日
・ ポエムパン（移動販売）　毎週水曜日
・ ヘアサロン（理美容師の訪問理美容）　月２～４回
・ マルシェ（屋台、買い物）　毎月第4土曜日

≪ヘアサロンの利用状況≫

	カット	パーマ	カラー	顔そり		カット	パーマ	カラー	顔そり
4月	33		2		11月	23		4	
5月	31	1	2		12月	32		1	
6月	32		3		1月	30		2	
7月	30		2		2月	23	1	2	
8月	29		2		3月	25		3	
9月	32		4		合計	350	2	27	
10月	30								

感染を回避しつつ面会の手段を最大限に工夫して検討していきました。直接お会いできる面会を継続して、入居者はもちろんご家族の方も喜んで頂けました。遠方のご家族の方はライン面会、zoom面会、人数の多い場合は窓越し面会など、状況に応じて対策、対応していきました。

≪面会者の状況≫

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホール面会	209	213	193	213	236	234	253	234	196	222	229	246	2678
窓越し面会		1											1
オンライン面会	2	1	1				1		1	1			7

＊ ユニットリーダー同士が課題を共有したり、取り組みの進捗について情報交換することで、全体的なケアの方向付け（ケアの理念に基づくケア）ができ、各ユニットに持ち帰って施設全体の浸透に努めました。今年度は、不適切ケアについての項目を増やして、日々のケアを振り返る機会を設けました。

・ ユニットリーダー会議　毎月1回開催
・ ユニットミーティング　2ユニット毎　随時

＊ ユニットケアの充実に向けた取り組み

自立支援を基本とした個別ケアを実施しました。

・ ２４Ｈシートの作成、更新、基づくケアの実施

ケアの中で変化に気づき、タイムリーな更新を行ないケアの向上に努めました。

※ 別紙（ユニット報告）

＊ ショートステイ

・ 感染症対策、対応について

近隣の感染状況を把握して、家族にも体調チェック等をお願いしながらサービス提供を継続しました。また、家族等の感染の発生時には、一時避難的な一定期間のご利用に対応しました。

・ ユニットケアのショートステイ

ショートステイユニットでは、家庭での生活が継続できるように、お一人おひとりの状態の把握に努めて個別のケアを行いました。

本人はもちろん、家族の思いにも応えられるように、ユニットスタッフが連携してきめ細やかなケアを提供しました。

すべてのご利用者が、心地よい空間で安心して過ごされるように、お部屋の清掃は徹底して行いました。

また温かい声掛けと関わりを心がけました。

生きがいややりがいを感じ、来園時より心も体も元気になって帰っていただけるようなサポートに努めました。

歩行される高齢者が多くを占めているので、転倒には十分配慮したケアに努めました。

・ ショートステイ利用中の介護

家庭での生活が継続できるように、利用前からの状態の把握と利用中の状態を観察して、適切なケアの実施に努めました。

ご家族との連携を大切に、退所時に日々の暮らしの記録をお渡しする事と細かい伝達や相談、ケアの提案を行い、家族と共にご利用者を支えられるように努めました。

家庭を離れて生活をされる中で、暮らしに楽しみを持ち、やりがいを感じていただけるように、アクティビティを充実させました。

安全の確保の為に、危険を予測してケアを工夫しました。

事故が起こった場合は、原因を追究して適切なケアを検討し、事故の再発防止に努めました。

ご利用中に、ご要望をうかがい、ご満足を追求してサービスの質を高めています。

長期間ご利用される方の対応では、ご利用中にご家族に電話をして状況を報告したり連携を密にしました。

○ 看　護

入居者の大半は複数疾患を持ち、高齢化と共に身体状況が重度化しています。日常の健康観察をこまめに行い、医療機関の協力を得て疾患の早期発見ができるよう健康管理に努めました。入居者が安定した生活を送ることができるよう、看護の充実に努めています。
また、各職種と連携し、高齢者の特殊性を把握しながら、残存機能を最大限に活用できるよう援助しています。集団生活の中での園内感染、食中毒の予防等、日常生活における環境衛生にも留意しています。褥瘡ゼロの実現に向けたケアに努め、改善しました。高齢者の栄養状態、体力低下などの影響に対するアプローチ等に課題が残りましたが、引き続き褥瘡ゼロに向けてケアを継続していきます。

＊ 健康管理

健康で苦痛のない日々を送れるように一般状態のチェックを行い、医療機関への報告、受診を速やかに行いました。

・ 健康診断

職員（パートを含む全員）	令和７年5月～６月	７６名
夜勤職員	令和７年２月	１７名

入居者

身長測定　体重測定　血圧測定　胸部レントゲン

尿検査(尿糖、尿たんぱく)　便検査

血液検査（中性脂肪、HDL、LDL、AST、ALT、γ-GTP、空腹時血糖、HbA1c）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
体重測定	75	73	73	75	77	78	73	75	75	73	72	70	889
身長測定	1	2	3	1	3	2	3	2	1	3	0	5	26
尿検査	1	2	3	1	1	2	3	1	1	3	0	5	23
検便	1	2	3	1	1	2	3	1	1	3	0	5	23
血液検査	30	18	19	15	23	18	21	26	27	50	6	15	268
レントゲン	17	7	14	6	10	4	49	13	9	17	6	12	164

・ インフルエンザ予防接種

令和７年１０月２２日～１１月１３日　　職　員　　５２名

入居者　　７２名

・ 手浴・足浴

手浴・足浴（フットケア）をすることで、循環不全を予防し、四肢末端への血流改善につながるなど体調を整えるために実施しています。

＊ 施設での医療

重度化、高齢化が進んでいます。入居者の状態観察を行い、異常があれば早めに医療機関の受診をしています。夜間の対応も含まれています。

内科的な疾患だけではなく、専門病院への受診が多くありました。特に泌尿器科受診が多かった。

※ 施設内月別治療状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	710	416	532	475	497	398	735	813	992	1,187	991	1,099	8,845
内科	2,542	2,673	2,614	2,524	2,393	2,494	2,741	2,419	2,391	2,358	2,080	2,206	29,435
眼科	360	248	334	372	372	360	419	406	386	321	271	295	4,144
皮膚科	545	587	600	620	622	664	744	804	775	609	549	609	7,728
歯科		1			1		1	2			1	3	9
経管栄養	120	128	157	186	186	180	185	159	155	155	140	182	1,933
留置ｶﾃｰﾃﾙ	10	12	8	7	5	5	11	11	11	11	10	10	111
救急手当	50	26	25	20	29	30	34	20	9	22	25	17	307
定期投薬	2,249	2,342	2,328	2,325	2,214	2,291	2,351	2,200	2,196	2,165	1,875	2,142	26,678
その他投薬	359	373	446	409	344	300	299	321	359	344	291	316	4,161
医師来診	7	5	8	6	5	6	6	6	5	7	5	9	75
医師特診	1	1	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	8
血圧測定	154	133	158	159	156	156	156	153	154	141	78	152	1,750
手浴	14	28	8	4	5	11	9	6	7	2	4	2	100
足浴	11	28	6	3	7	6	9	6	3	2	3	3	87
爪切り	37	84	56	55	78	63	106	46	79	52	57	40	753

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ﾘﾊﾋﾞﾘ訓練	12	10	12	11	10	12	12	10	10	10	9	10	128
終末処置		1	2				2	2			1	1	9
合計	7,181	7,096	7,296	7,176	6,924	6,976	7,822	7,386	7,532	7,386	6,390	7,096	86,261

※ 施設外受診状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
歯科		1			1		1	2			1	3	9
耳鼻科													0
眼科		1		1			1	1				1	5
皮膚科	2	1	3			2	1	1	1	2		2	15
婦人科	1	2		1		1		1				1	7
精神科		1		1	1	1	2	1	2		3	7	19
泌尿器科	11	9	9	14	9	14	12	10	9	11	12	11	131
内科	22	7	13	8	8	2	8	8	10	16	10	9	121
外科	2	1	2	1				1	1	1			9
整形外科			1	2	2		1	2	2	1		1	12
合計	38	23	28	28	21	20	26	27	25	31	26	35	328

※ 施設内治療内訳

科目	治療内容
外科	ガーゼ交換（一般傷、褥瘡）湿布　ストーマケア
内科	臨時与薬、酸素吸入、内科的治療注射、吸引、吸入、貼付薬
眼科	点眼、軟膏塗布
皮膚科	軟膏塗布
留置ｶﾃｰﾃﾙ	膀胱洗浄、経管栄養、バルーンカテーテル交換
救急手当て	気道確保、応急処置
その他 与薬	緩下剤、浣腸、臨時与薬

※ 入院の状況

月	入院理由	人数	入院延日数	月	入院理由	人数	入院延日数
4月	亜急性脳梗塞	1	16	5月	重症心不全	1	13
	コロナ・COPD	1	10		誤嚥性肺炎	1	19
	誤嚥性肺炎･胸水･慢性心不全	1	16		肺炎	1	21
	敗血症	1	28		心不全	2	19
	膀胱タンポナーゼ	1	5		低カルシウム血症･慢性心不全	1	14
	顔面打撲･左前腕擦過傷	1	3		急性胆管炎	1	13
	重症心不全	1	17		大腸菌敗血症･心不全	1	13
	誤嚥性肺炎	1	16		慢性心不全･MRSA膀胱炎	1	12
	肺炎	1	13	6月	急性胆管炎	1	5
	心不全	2	12		大腸菌敗血症･心不全	1	9
	低カルシウム血症･慢性心不全	1	8		慢性心不全･MRSA膀胱炎	1	17
5月	敗血症	1	2		うっ血性心不全	1	13

月	入院理由	人数	入院延日数	月	入院理由	人数	入院延日数
6月	進行性核上性麻痺･窒息	1	6	12月	S状結腸軸捻転	1	17
	慢性うっ血性心不全	1	4		尿管結石	1	28
	心不全	1	2		膀胱内腫瘍	1	7
7月	うっ血性心不全	1	9		誤嚥性肺炎･心不全	1	1
	慢性うっ血性心不全	1	9	1月	尿管結石	1	7
	心不全･胃瘻造設	1	30		誤嚥性肺炎･心不全	1	16
	心不全	1	10		脳出血･重度肺炎	1	25
	膿胸	1	28		誤嚥性肺炎	2	43
	誤嚥性肺炎	3	48		うっ血性心不全	1	23
8月	膿胸	1	25		類天疱瘡･頭部外傷	1	16
	心不全･胃瘻造設	1	4		閉そく性黄疸･ERCP	1	6
	誤嚥性肺炎	4	88		胃ろう交換	1	1
	急性腎盂腎炎･脳出血	1	13		肺炎･尿路感染症	1	2
	貧血	1	30		頬骨骨折	1	1
	肺炎･脱水	1	11	2月	脳出血･重度肺炎	1	27
	肺炎･敗血症	1	11		類天疱瘡･頭部外傷	1	27
	敗血症･DIC	1	20		肺炎･尿路感染症	1	8
	S状結腸軸捻転	1	13		頬骨骨折	1	11
	尿路感染症	1	13		誤嚥性肺炎	4	33
9月	誤嚥性肺炎	3	36		誤嚥性肺炎･乳がん	1	15
	貧血	1	29		右大腿骨骨肉腫	1	4
	敗血症･DIC	1	10		脳挫傷･頭部骨折･急性硬膜下血腫	1	2
	尿路感染症	1	3	3月	類天疱瘡･頭部外傷	1	8
10月	S状結腸軸捻転	1	20		誤嚥性肺炎	3	64
	尿路感染症	1	22		右大腿骨骨肉腫	1	25
	胃ろう交換	1	1		脳挫傷･頭部骨折･急性硬膜下血腫	1	30
11月	S状結腸軸捻転	1	20		肺炎･心不全	1	15
	尿路感染症	1	29		膀胱腫瘍	1	3
	AMI･急性心不全･慢性腎不全	1	19		肺炎	1	9
	肺炎	1	21		心不全・胸水貯留	1	7
12月	肺炎	1	14	合　　計		100	1393

＊ 状態の把握と緊急時の対応

日々の心身状態の観察と状態把握の共有を図り、サインを見逃さないようにユニットに指導を行いました。

＊ 夜間オンコールマニュアルに従い、介護スタッフから夜間の報告がスムーズに出来るようにしました。適確な報告を受けて、看護師は応急的な手当てを伝えることが出来たと思います。

＊ 看取りケア

多職種協働で入居者が最期に何を望んでいるかを考える場を設けました。最期の時まで経口摂取が実現できるようケアをしました。

- 入居者が自分の部屋でご家族・職員に見守られながら旅立ちができるように援助しました。
- 入居者が痛みを訴えず、自然に穏やかな旅立ちができるように、関わりを継続しつつ、より細やかな対応を心がけることで旅立ちの前の不安を取り除く一助としました。

- 看取り期とされた入居者に対し、ユニット職員、専門職が連携して穏やかに旅立ちができるようケアの方法や方針を共有するカンファレンスを行いました。
  ご家族も参加され、揺れ動く思いやご希望などを職員と共有することで悔いの少ない看取りを行うことができました。
- グリーフケア
  旅立ちの後、ご遺族とともに故人を振り返る機会を持ちました。
  ユニットの職員、専門職がご遺族とともにそれぞれの故人の思い出を語り、近親者を失う喪失感や心の痛みに寄り添いその軽減に努めました。
  ご遺族だけではなく、スタッフもケアを振り返ることができ、互いに気持ちが穏やかになりました。看取り期から退居の日まで、細やかなカンファレンスや情報共有を行うことで、最期の日までご家族と協力してケアをすることができ、故人が旅立った後の心の負担の軽減ができたように思います。

≪看取りのカンファレンス≫

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対象者	2	3	3	1	1	1	1	0	0	0	0	0	12
回数	2	3	3	1	1	1	1	0	0	0	0	0	12
出席者	14	18	18	7	8	7	7	0	0	0	0	0	79

≪グリーフケア≫

	出席者	回数	人数
6月	介護士長・介護支援専門員・栄養士・作業療法士・理学療法士・介護士・看護師長	2	13
10月	介護士長・介護支援専門員・栄養士・作業療法士・理学療法士・介護士・看護師長	1	7

○ 生活相談援助

入居者・ご家族の不安やご要望を真摯に受けとめ、サービスの向上に寄与するよう、法人内専門職との連携に努めました。

入居者の権利擁護に努め、その代弁者としての役割を果たすよう努めました。

地域福祉の拠点としての施設を念頭に、地域の福祉の向上に努めました。

医療・保健・福祉、行政、地域組織等、関係諸機関との連携の強化に努めました。

待機者へのアプローチにおいては感染対策に留意し、正確な情報収集、適切な入居対応に努めました。

＊ 入居者・ご家族の生活相談援助

- 新規入居者のご家族と密に連絡をとり、不安なく入居ができるよう努めました。
- 話しやすい雰囲気づくり　…　気兼ねなく話ができるよう環境にも配慮しました。
- 個別でお部屋に訪問して話を伺い、それぞれの「暮らし」が継続できるよう努めました。
- 入居時や退院時等、他機関、病院からの情報をご家族とも共有し、環境変化に伴う不安の軽減に努めました。

＊ 入居待機者へのアプローチ

入居検討会議の開催	6	回
待機者面接	32	件
入居申込件数	39	件
入居説明・調整	25	件
入居前カンファレンス	12	回

≪ 待機者状況 ≫　R8.3.31

要介護度別

要　介　護　度	人　数
要　介　護　1	2
要　介　護　2	3
要　介　護　3	20
要　介　護　4	16
要　介　護　5	13
更新中・未確定	4
合計	58

居所別

居所	人 数	居　所	人 数
在　宅	19	小規模多機能	4
老人保健施設	4	グループホーム	3
有料老人ホーム	3	入院	25
合計	58		

○ 介護支援

その人らしい穏やかな生活実現のために～多職種協働

- ご本人・ご家族の意向を尊重し、ご本人がご本人らしく自尊心を保ち、穏やかな日常生活を送れるように、適切なサービスを提供する為に、施設サービス計画書を作成しました。
- 生活の個別性と継続性の視点にたち、体調維持、身体機能の維持・向上、日常生活のなかでの楽しみや生きがい等を考慮して作成しました。
- 毎月開催するユニットケア会議では、各専門職参加のもと、サービス担当者会議を開催して、多職種間で協議しました。
- 入居時はご家族が出席されて会議を開催しました。
- 定期的なモニタリングを行い、入居者の状況や支援の実施状況を把握しました。

令和7年度　サービス担当者会議開催状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期	13	8	8	12	6	7	6	7	5	8	7	9	96
入居	1	2	3	1	1	2	3	1	1	3	0	5	23
退院	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3
看取り	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3

- 認定調査立ち合い件数…36件

＊ 生活の中の機能訓練

日常生活の中で、ご自身が持つ心身機能を生かし、安心した生活が送れるよう支援しました。
定期的に身体機能や日常生活の評価を行い、お一人お一人に合った計画書を作成しました。
また、入院等で心身の状態や日常生活に変化があった場合はその都度見直しを行いました。
計画書に基づいてリハビリ会議を行い、多職種間で協議し、協働して行いました。
心身の健康を維持するために、定期的にレクリエーションを行いました。

- リハビリ会議の開催

入居者　定期のリハビリ会議	299 件
新規入居による計画書作成	23 件
状態変化（看取り診断）による計画書作成	3 件

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
リハビリ会議	33	21	24	31	23	23	29	21	24	27	20	23	299
新規入居	1	2	3	1	1	2	3	1	1	3	0	5	23
状態変化	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3

・ レクリエーションの開催

あたまもカラダも元気タイム　　18 回 （延べ人数216人）

アロマハンドマッサージ　　20 回 （延べ人数90人）

令和７年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
あたまもカラダも元気タイム回数								3	3	4	4	4	18
実施人数								41	39	47	44	45	216
アロマハンドマッサージ回数								3	5	4	4	4	20
実施人数								10	21	17	23	19	90

＊ 口腔ケア

・ 口腔衛生管理体制の整備に取り組み、入居者の口腔状態をより正確に把握することで、口から全身の健康管理につながるような口腔ケアの提供を行いました。

・ 日々の口腔ケアで各入居者の口腔状態に応じた適切なケアが実践できるように、他職種と連携して全入居者に対して口腔健康アセスメント（OHAT）を実施しました。

・ 入居者を対象に、誤嚥性肺炎の予防や食べる機能の維持向上のために、唾液腺マッサージや舌体操などの口腔リハビリ体操を行いました。

・ 安心して口腔ケアを受けていただけるように、声掛けしながら安全で快適なケアの実施に努めました。

歯科衛生士による入居者アセスメント件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	157	174	173	180	175	186	206	185	174	156	181	217	2,164
回数	9	11	10	11	6	12	13	11	10	10	11	10	124

口腔健康アセスメント（OHAT）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人						78			71			67	216

＊ 音楽の会・個別音楽療法

・ 楽しみながら情緒の安定を図る、呼吸機能の向上を目的として音楽活動の支援を行いました。

実施の際 下記の点に留意しました。

① その日の様子に合わせた活動量で実施する。会の始めにお一人ずつウインドチャイムを鳴らしていただき当日の様子をアセスメントし、質的・量的なプログラムの変更を行いました。

② 楽器を使用しリズムが揃うことで得られる他者との一体感が感じられるよう支援しました。

③ 個別音楽療法では、職員の要望により入居間もない方・会への参加が難しい方・終末期にある方等、個別ニーズに応じた音楽活動支援を行いました。

④ アクティビティメンバーと協働し、おとらくの会を12回・11月には得意な活動を練習された方のコンサートを開催しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
音楽の会人数	483	467	467	467	344	346	380	344	292	204	171	236	4201
実施回数	32	34	30	34	24	24	26	26	22	16	14	18	300
個別音楽療法人数	67	81	75	68	64	47	56	61	56	43	44	38	700
実施回数	49	61	48	54	51	42	41	55	48	36	36	38	559

＊ **栄養管理**

お一人お一人の栄養状態や食事摂取状況に応じた個々の栄養管理に努め、低栄養の改善、予防、安全で衛生的な食事の提供ができるよう努めました。

＊ 給食状況（R8.3.31）

主食状況	人数
ご飯	33
粥	22
ムース	9
経管栄養	7

副食状況	人数
常食	14
粗キザミ	19
キザミ	10
ソフト	12
ゼリー	9

療養食	人数
糖尿食	3
心臓高血圧食	3
減塩食	3

＊ 1人1日当たり給与栄養量

	エネルギー	タンパク質	カルシウム		エネルギー	タンパク質	カルシウム
4月	1359	55.3	684	10月	1547	62.2	696
5月	1385	55.5	664	11月	1369	55	679
6月	1385	55.1	677	12月	1372	55	718
7月	1382	55.6	669	1月	1381	56.6	692
8月	1390	55.5	705	2月	1375	55.4	674
9月	1373	54.2	680	3月	1366	54.4	697
基準値	1410	53	638	基準値	1410	53	638

※ 基準値は日本人の食事摂取基準2025年版に基づき算出しています。

※ 日本食品標準成分表2020年版(八訂)に基づき算出しています。

＊ 残菜調査

入居者の食事摂取量や食嗜好を把握し、今後の献立作成への活用や、イベント時の食事提供の参考にするため、２ユニット毎１週間ずつ残菜調査を行いました。
朝食・昼食・夕食時に毎回主食と副食の残量をそれぞれ計量しました。昼食の残食率が高い傾向にありました。また麺類やカレー、散らし寿司などの変わりご飯の日は残食率が例年同様に低い傾向にありました。

実施日： 11月1日～２８日

ユニット3・4から順次1週間ごとユニット9・10まで調査実施

＊ 栄養ケアマネジメント

入居者の栄養状態をリスク別に振り分け栄養状態の改善・予防に努めています。低栄養状態のリスク判断材料として、体重（BMI）・血液検査（アルブミン）・喫食率・褥瘡・栄養補給法などの項目があります。

≪栄養ケア会議≫

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	33	21	24	31	23	23	29	21	24	27	20	23	299
入居時	1	2	3	1	1	2	3	1	1	3	0	5	23
状態変化	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3

・ 食形態別低栄養状態リスク判別（R8.3.31）

	常食	粗キザミ	キザミ	ソフト	ゼリー	経管栄養	絶食	合計
低リスク	11	12	7	10	5	0	0	45
中リスク	3	5	3	1	3	7	0	22
高リスク	0	2	0	1	1	0	0	4

・ 高リスク判定内訳（R8.3.31）

体重減少	血清アルブミン	褥瘡
3	0	1

・ 栄養補助食品使用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高カロリージュース	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

・ 栄養補助食品使用の目的（R8.3.31）

補助食品のタイプ	カロリー保持	体重低下	食事として提供
高カロリージュース	0	0	1

○ 地域福祉の推進と地域連携

＊ 運営推進会議の開催

津山市北部地域の福祉活動に関わる機関・団体の代表者への活動状況の報告や情報交換を通して、地域に開かれた事業運営及びサービスの質と地域福祉の向上を目的として運営推進会議を開催しました。

委　員　：　町内会長、民生委員、老人クラブ、愛育委員、消防団、公民館、地域代表
入居者家族、法人理事　　11名　　オブザーバー　津山市

開催日	内容	出席者
R7.7.31	令和年度事業報告について 高寿園地域福祉事業について 地域密着型通所介護事業について 地域課題について意見交換	委員　10名 職員　4名 法人役員　3名 市役所　2名
R8.3.25	令和8年度事業計画について 高寿園地域福祉事業について 地域密着型通所介護事業について 地域課題について意見交換	委員　10名 職員　3名 法人役員　3名 市役所　1名

＊ マルシェ＆おもちゃ図書館

地元企業と協働し、「マルシェ@こうじゅえん」を開催しました。
入居者の皆さまに買い物を楽しんでいただく機会を設けるとともに、おもちゃ図書館を開設し、地域の乳幼児親子が気軽に集える場を提供しました。

開催日時　：　毎月第4土曜日　10:00～14:00

場　所　：　高寿園（地域センター）

マルシェ協力店	
・パン工房エピ ・早瀬豆富店 ・山シュー	・ごはんどころ　ガリ ・キッチンかまちゃん ・いこい食品

＊ 地域センターの貸し出し

団体名		Adjust					
月	日	参加者数	内容	月	日	参加者数	内容
6	14	14	ヨガ体験会	1	25		運動あそび
8	3	21	絵画教室	2	15	11	足つぼセルフケア
11	16	15	麹　ワークショップ				
12	14		おはなし会	計		61	

＊ HELLO　BABYと共催事業

団体名	HELLO　BABY		
月	日	参加者数	内容
4	15、17、23、24、28	82	産後ヨガ、膣トレ、抱っことおんぶ、ゆんたく、手形足形アート
5	8、10、12、14、17、19、26、27、31	131	ベビマ、妊娠期編、産後ヨガ、抱っことおんぶ、マタニティヨガ、膣トレ、ゆんたく、お産編、手形足形アート
6	5、9、12、14、17、21、23、26	79	ベビマ、膣トレ、産後期編、マタニティヨガ、靴選び、両親学級、産後ヨガ、ゆんたく
7	2、5、8、10、12、14、18、22、25、28	173	妊娠期編、マタニティヨガ、膣トレ、ベビマ、手形足形アート、抱っことおんぶ、お産編、産後ヨガ、離乳食クラス、ゆんたく
8	4、7、9、11、13、18、26、28	127	ベビーマッサージ、膣トレ、手形足形アート、マタニティヨガ、抱っことおんぶ、産後ヨガ、産後期編、ゆんたく
9	3、9、15、18、22、30	65	ベビマ、膣トレ、マタニティヨガ、産後ヨガ、ハロー、抱っことおんぶ
10	2、6、7、13、15、18、21、28、31	157	ゆんたく、ベビマ、膣トレ、マタニティヨガ、離乳食、お産編、産後ヨガ、産後期編、抱っことおんぶ
11	4、11、17、24、27	75	マタニティヨガ、膣トレ、産後ヨガ、抱っことおんぶ、わらべうた

月	日	参加者数	内容
12	1、11、15、18、23、25、27	131	マタニティヨガ、膣トレ、産後ヨガ、津山中学校、わらべうた、抱っことおんぶ、お産編
1	9、13、17、19、23、26、31	100	膣トレ、産後ヨガ、手形足形アート、わらべうた、抱っことおんぶ、産後期編、両親学級
2	3、9、11、13、16、18、19、23、24	105	靴選び、膣トレ、発達クラス、産後ヨガ、みんまた妊娠期編、おとぷっぷ、抱っことおんぶ、みんまた
3	3、5、10、11、17、19、24、27	164	発達クラス、産後ヨガ、おとぷっぷ、抱っことおんぶ、産後期、みんまた両親学級
計	９１日	1389	

○ 令和7年度　役員会等の開催状況

・ 理事会の状況

開催年月日	理事	監事	決議事項
R7 .5.28	5名	1名	令和6年度事業報告書（案）について 令和6年度資金収支決算書（案）について 監査報告 理事・監事候補者の推薦について 評議員候補者の推薦について 就業規則の一部改定（案）について 経理規程の一部改正（案）について 食費の見直しについて 評議員会の招集、職務執行状況の報告
R7 .6.23	6名	2名	理事長及び職務執行理事（常務理事）の選任について
R7 .8.23	4名	1名	就業規則の改定（案）について 職務執行状況の報告
R7 .12.19	5名	1名	令和7年度第１次補正予算（案）について 評議員会の招集、職務執行状況の報告
R8 .3..3	6名	1名	令和7年度第２次補正予算（案）について 令和8年度事業計画（案）について 令和8年度資金収支予算（案）について 評議員会の招集、職務執行状況の報告

・ 評議員会の状況

開催年月日	評議員	監事	決議事項
R7 .6.23	7名	2名	令和6年度事業報告書（案）について 令和6年度資金収支決算書（案）について 監査報告 理事・監事の選任について 職務執行状況の報告
R8 .1.9	6名	2名	令和7年度第１次補正予算（案）について 職務執行状況の報告

開催年月日	評議員	監事	決議事項
R8 .3.18	6名	1名	令和7年度第2次資金収支補正予算(案）について 令和8年度事業計画（案）について 令和8年度資金収支予算（案）について 職務執行状況の報告

・ 評議員選任・解任委員会の状況

開催年月日	委員	決議事項
R7 .6.6	3名	新評議員の選任について

・ 監事会の状況

開催日 ： 令和7年5月23日　　出席監事 ： 2名

令和6年度業務執行の状況及び財産の状況の監査

・ 税理士監査の状況

開催日 ： 令和7年5月21日　　税理士 ： 1名

令和6年度事業運営の状況、規程等の順守、経理執行･財産の状況の監査

○ ボランティア、行事の開催

・ ボランティアの訪問

内容	開催日		参加者					ボランティア	
			入居者	ｼｮｰﾄ	デイ	職員	その他	人数	氏名・団体名
踊り・手遊び・昔話・歌・紙芝居・体操等	R7.4.14	月	28	4	6	5		11	津山語りの会 いろりばた
	R7.5.12	月	56	1	6	8		8	
	R7.6.16	月	36	4	6	7		7	
	R7.7.14	月	33	5	6	4		5	
	R7.9.8	月	35	1	8	6	2	5	
	R7.11.10	月	36	4	7	6	3	6	
	R7.12.8	月	45	5	5	6		6	
	R8.1.12	月	42	3	4	5		7	
	R8.2.9	月	37	5	3	7		7	
	R8.3.9	月	30	7	5	8		9	
着物ボディ展示	R7.6.3	火						3	まえはら和装学院
	R7.12.26	金						3	
	R8.3.6	金						3	
葉ボタンプレゼント	R7.12.8	月	5			4		9	高倉小学校
ふらっとライブ	R7.12.27	土	43	3		14		7	河辺小学校
ピアノ演奏	R8.1.25	日	34	3		11		20	春木ピアノ教室
コンサート	R7.12.3	水	55	1	3	12		1	松尾　貴臣氏
参加者・ボランティア合計			515	46	59	103	5	117	

・ 行事

行事名	開催日		参加者					費用
			入居者	ｼｮｰﾄ	デイ	職員	一般	
お花見会	R7.4.8	火	71		6	24		7,968
お花見ドライブ	R7.4/4.8.9	火水	16			6		
端午の節句	R7.5.8	木	47	2	4	13		660
新緑茶会	R7.6.11	水	37	4	5	8		7624
書道クラブ	R7.4.13	日	21					
ひまわりの種植え	R7.4.17	木	2					
トマトの苗植え	R7.5.7	水	8					
書道クラブ	R7.5.11	日	17					
わいわいクラブ	R7.5.28	水	8					
カラオケ喫茶	R7.6.3	火	43					
玉ねぎの収穫	R7.6/6.7	金	8					
ジャガイモの収穫	R7.6/6.7	金	5					
書道クラブ	R7.6.7	土	17					
わいわいクラブ	R7.6.25	水	13					
七夕かふぇ	R7.7.7	月	50	4	7	14		6,656
書道クラブ	R7.7.13	日	20					
手芸クラブ	R7.7.2	水	9					
おとらく(音楽)の会	R7.7.5	土	28					
カラオケ喫茶	R7.7.16	水	36					
ジャガイモの収穫	R7.7.19	土	4					
手作りカレー	R7.7.25	金	130					
わいわいクラブ	R7.7.30	水	12					
おとらく(音楽)の会	R7.8.2	土	26					
書道クラブ	R7.8.10	日	18					
夏祭り	R7.8.21	木	69	3	5	21	4	11,606
カラオケ喫茶	R7.9.1	月	34					
おとらく(音楽)の会	R7.9.6	土	34					
ﾌﾗﾜｰｱﾚﾝｼﾞﾒﾝﾄ	R7.9.12	金	16					43450
敬老お祝い会	R7.9.13	土	71	5		10		41,254
書道クラブ	R7.9.14	日	16					
彼岸供養（秋）	R7.9.22	月	13	7	8	6		11,921
握りずしフェアー	R7.10.8	水	76	3	5	19		2,166
書道クラブ	R7.10.12	日	20					
秋祭り	R7.10.19	日	44	6		9		
カラオケ喫茶	R7.10.14	火	28					
おとらく(音楽)の会	R7.10.4	土	32					
わいわいクラブ	R7.10.11	土	11					
おとらく(音楽)の会	R7.11.1	土	64	2		7		

行事名	開催日		参加者					費用
			入居者	ｼｮｰﾄ	デイ	職員	一般	
秋のもぐもぐフェス	R7.11/6.12	水	66	3	4	13		20,273
書道クラブ	R7.11.9	日	21					
さつま芋の収穫	R7.11.8	土	3					
紅葉ドライブ	R7.11.		15					
玉ねぎ植え	R7.11.23	日	2					
おとらく(音楽)の会	R7.12.6	土	39					
ﾌﾗﾜｰｱﾚﾝｼﾞ ﾒﾝﾄ	R7.12.30	火	20			6		26000
書道クラブ	R7.12.14	日	18					
手芸クラブ	R7.12.14	火	8					
クリスマス会	R7.12.25	木	71	3	3	16		11,798
おとらく(音楽)の会	R8.1.3	土	36					
カラオケ喫茶	R8.1.10	土	39					
新春書初めの会	R8.1.11	日	21					
とんど	R8.1.14	水	56	3	3	13		3402
節分祭	R8.2.5	木	53	1	4	16		
書道クラブ	R8.2.8	日	17			6		
おとらく(音楽)の会	R8.2.7	土	38					
手芸クラブ	R8.2.14	土	9					
おとらく(音楽)の会	R8.3.7	土	28					
書道クラブ	R8.3.8	日	18					
カラオケ喫茶	R8.3.21	土	30					
彼岸供養（春）	R8.3.19	木	28		4	6		12153
ひなカフェ	R8.3.4	水	55	2	5	14		7,556
ぐりーんカフェ	R7.4.10	木		1	3	2		
	R7.4.23	水		2	4	2		
	R7.5.14	水			4	2		
	R7.5.26	月			6	2		
	R7.6.4	水			4	2		
	R7.6.18	水		1	3	2		
	R7.7.10	木		2	5	2		
	R7.7.24	木			5	2		
	R7.8.5	火			5	2		
	R7.8.26	火		3	6	2		
	R7.9.11	木			5	2		
	R7.9.25	木		2	5	2		
	R7.10.9	木			3	2		
	R7.10.30	木			5	2		
	R7.11.13	木		1	4	2		
	R7.11.27	木		1	3	2		
	R7.12.11	木		2	3	2		

行事名	開催日		参加者					費用
			入居者	ｼｮｰﾄ	デイ	職員	一般	
ぐりーんカフェ	R7.12.19	金		2	4	2		
	R8.1.8	木		1	4	2		
	R8.1.23	金		4	5	2		
	R8.2.11	水		2	4	2		
	R8.2.16	月		4	6	2		
	R8.3.13	金		6	4	2		
	R8.3.23	月			6	2		
合 計			1,865	82	169	275	4	214,487

○ 行事食

行事名	月日	行事献立
お花見会	R.7.4.7	＜お花見弁当＞
		桜のちらし寿司・鰆の西京焼き・絹揚げの煮物・スローサラダ・白桃ようかん（常食） 豆乳パンナコッタ（ソフト食・ゼリー食）
端午の節句	R.7.5.5	オムライス・エビフライ・コンソメスープ・メロンゼリー
あじさい寿司	R.7.6.9	あじさい寿司・高野豆腐のそぼろ煮・スパゲティサラダ・味噌汁
七夕	R.7.7.7	七夕そうめん・切り干し大根と豚肉の煮物・黄桃缶のピーチジュレ
土用の丑の日	R.7.7.19	うな丼・レンコンとちくわの金平・きゅうりの浅漬け・味噌汁
手作りカレー	R.7.7.25	カレー・フルーチェ
夏祭り	R.7.8.21	かき氷・綿菓子・ジュース
敬老お祝い会	R.7.9.13	〈デザート〉アイスクリーム
握り寿司フェア	R.7.10.8	高寿園盛り 常食…サーモン・生えび・たまご・鰻・ハマチ ソフト…サーモン・生えび・ネギトロ・たまご・ハマチ ゼリー…やわらか押し寿司
十三夜	R.7.11.2	栗ご飯・ほっけのたれ焼き・卯の花・きゅうりの甘酢・とろろ汁
もぐもぐフェス	R.7.11.6・12	秋の味覚デザートビュッフェ
クリスマス	R.7.12.25	オムライス（野菜ソース）・鶏の唐揚げ・ブロッコリーの洋風おひたし・ポタージュスープ
餅つき	R.7.12.26	あんこ餅・きな粉餅
大晦日	R.7.12.31	大晦そば・絹揚げと豚肉の煮物・みかん缶
新年会	R.8.1.1	〈おせち〉〈お雑煮〉
		有頭海老の旨煮・合鴨スモーク・ほたて旨煮・数の子・高野豆腐の煮物・伊達巻・絵馬蒲鉾・花三色・お煮〆・黒豆・若桃の甘露煮・雑煮（もち）
とんど	R.8.1.14	ぜんざい・おしるこ
節分	R.8.2.3	ちらし寿司・鶏肉とごぼうの炒り煮・マカロニサラダ・イワシのつみれ汁
ひな祭り	R.8.3.3	ひし形寿司・白菜と糸昆布の煮物・茶わん蒸し・フルーツ
ひなカフェ	R.8.3.4	甘酒・おいり

＊ 行事食等実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
行事食	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	14
希望食				1				1	1		1		4

4月のお花見では、お花見弁当を作成しました。外で桜を眺めながら、お食事を楽しまれました。
7月は園で収穫した野菜を使用してカレーを作成し、提供しました。園で採れた新鮮野菜のカレーは、とても好評でした。
1月のおせちでは、皆さん笑顔でいつもよりお食事が進んでいました。
3月のひなカフェでは、甘酒と香川県のカラフルなお菓子おいりを提供しました。

＜別紙1＞　**令和７年度　研修等一覧表**

※ 講師・実践報告等

	【講師等】				
R7.6.11	社会福祉士実習指導者アップデート研修会：講師	solution課長	1	きらめきプラザ	県社会福祉士会
R7.8.10	社会福祉士実習指導者養成研修会：講師	solution課長	1	きらめきプラザ	県社会福祉士会
R7.8.27	キャリアパス支援研修：講師	solution課長	1	オンライン	広島県シルバーサービス振興会
R7.9.2	中国地区老人福祉施設職員研修大会：審査員	施設長	1	広島県歯科医師会館	中国地区老施協
R7.9.5	介護福祉士実習指導者講習会：講師	介護士長	1	きらめきプラザ	県介護福祉士会
R7.11.18	日本在宅介護協会中四国支部セミナー：講師	solution課長	1	オンライン	日本在宅介護協会
R7.12.5	全国老施協老人福祉施設大会･研究会議：審査員	施設長	1	山口グランドホテル	全国老施協
	【実践報告等】				
R7.5.22	将来世代応援知事同盟サミット	施設長	1	ハートピア春江	将来世代応援知事同盟
R7.6.13	県老人福祉施設職員研究発表会	介護士主任他	2	きらめきプラザ	県老施協
R7.6.18	介護サービス博覧会	施設長	1	コンベンションセンター	OMC実行委員会
R7.9.1-2	中国地区老人福祉施設職員研修大会	介護士主任他	1	広島県医師会館	中国地区老施協
R7.10.3	科学的介護フォーラムin大阪	solution課長	1	ATCエイジレスセンター	株)最中屋
R7.11.14	仕事と家庭が両立できる職場環境づくりセミナー	施設長	1	雇用労働センター	岡山県
R7.11.19	キャリアパス対応生涯研修	施設長	1	きらめきプラザ	県福祉人材センター
R7.12.5	全国老施協老人福祉施設大会･研究会議	介護士主任他	2	山口グランドホテル	全国老施協
R8.1.8	科学的介護フォーラム	施設長	1	オンライン	株)最中屋
R8.1.22	ＣＢセミナー	施設長	1	オンライン	株)CBホールディングス
R8.2.6	介護福祉士養成校代表者会議	施設長	1	川崎医療福祉大学	介護福祉士養成校協会
R8.2.9	女性活躍推進セミナー	施設長	1	雇用労働センター	津山市
	【インタビュー等】				
R7.12.15	ハレまるみっけ！	介護士	2	FMおかやま	岡山エフエム放送株式会社
R8.1.27	介護現場の生産性向上	施設長	1	オンライン･記事	高齢者住宅新聞社

※ 外部研修

日　程	研　修　会　名	参加者名	人数	場　所	主　催
R7.5.15	社会福祉法人経営者セミナー	solution課長	1	西川原プラザ	県経営協
R7.6.13	県老人福祉施設研究発表会	介護士	1	きらめきプラザ	県老施協
R7.7.6-31	介護支援専門員更新研修	介護支援課長	1	オンライン	県社協

日　程	研　修　会　名	参加者名	人数	場　所	主　催
R7.7.10-11	中四国B社会福祉法人経営者セミナー	solution課長	1	コンベンションセンター	県経営協
R7.7.11	中四国B社会福祉法人経営青年会セミナー	solution課長	1	コンベンションセンター	県経営青年会
R7.8.12	口腔ケア研修	施設長	1	きらめきプラザ	県老施協
R7.8.21/9.9	介護支援専門員更新研修①②	介護支援課長	1	西川原プラザ	県社協
R7.7.10-11	中四国B社会福祉法人経営者セミナー	施設長	1	コンベンションセンター	中四国B経営協
R7.9.1-2	中国地区老人福祉施設職員研修大会	介護士･作業療法士他	4	広島県医師会館	中国B老施協
R7.9.25	口腔ケア研修会	介護･看護･リハ等	12	市総合福祉会館	美作地区老施協
R7.10.3	科学的介護フォーラム	施設長	1	大阪ATCエイジレスセンター	(株)最中屋
R7.10.15-16	中国地区老人福祉施設長研修会	施設長･solution課長	2	米子コンベンションセンター	中国B老施協
R7.10.20	ノーリフトケア&ICT･DX推進セミナー	施設長	1	おかやま未来ホール	県老施協･労働局
R7.10.24	県老施協50周年記念セミナー	施設長･solution課長	2	グランヴィア岡山	県老施協
R7.10.29	公正採用選考人権啓発研修会	事務局長	1	津山文化センター	岡山労働局
R7.11.5	安全運転管理者講習	事務局長	1	オンライン	県安全運転管理者協議会連合会
R7.11.7	広島県･岡山県次世代委員交流研修会	solution課長	1	福山商工会議所	県老施協
R711.25	職員の定着と質の高いケアを目指す研修会	施設長	1	きらめきプラザ	県老施協
R7.12.1	ACPファシリテーター現認研修会	看護師長	1	市役所	津山市
R7.12.4-5	全国老施協老人福祉施設大会･研究会議	介護士主任･solution課長	3	KDDI維新ホール他	全国老施協
R8.1.16	クリエイトセミナー	solution課長	1	きらめきプラザ	県経営青年会
R8.2.4-5	ユニットリーダー研修	介護士	1	オンライン	ユニットケア推進センター
R8.3.24-27	ユニットリーダー実地研修	介護士	1	特養ゆうらく	ユニットケア推進センター
R8.3.18	県老施協次世代委員会施設見学会	solution課長	1	庄の里、セレーノ総社	県老施協
R8.3.22	実習指導者養成講習会(SV)	solution課長	1	オンライン	日本社会福祉士会
R8.3.26	口腔ケア初級セミナー	介護士	2	オンライン	クロスケアデンタル

※ 視察等受入れ

日　程	施　設　等　名		人数	内容
R7.4.11	白滝園（特養）	広島県	2	全老施協モデル事業実地研修
R7.4.14	白寿荘（特養）	岡山県	3	入浴設備･リフト
R7.4.22	慈光園（特養）	広島県	7	全老施協モデル事業実地研修
R7.6.25	千種の苑（特養）	兵庫県	3	全老施協モデル事業実地研修
R7.10.14	宇甘川荘（特養）	岡山県	4	全老施協モデル事業実地研修
R7.10.29	株)日本ケアコミュニケーションズ	東京都	3	ICT活用
R8.1.28	なでしこ苑（特養）	三重県	5	全老施協モデル事業実地研修
R8.2.20	グリーンピア瀬戸内(特養)	岡山県	6	全老施協モデル事業実地研修
R8.3.13	津山広済寮(救護)	岡山県	4	リフト･ICT活用

※ 施設内研修

日　程	研　修　会　名	内容	講師	参加者数	伝達研修
R7.4.30	リスマネ研修	R6年度の事故等振り返り、報告書の書き方	リスマネ委･野尾	33	35
R7.6.9	感染管理実地研修会(BCP･訓練)	感染管理	岡山県医師会	26	42
R7.6.30	身体拘束適正化研修	身体拘束適正化	施設長	22	40
R7.7.1	感染症予防研修	食中毒予防と衛生管理	美作保健所	22	

日　程	研　修　会　名	内容	講師	参加者数	伝達研修
R7.8.6	事故の振り返り研修会	事故の振り返りからの再発防止	リスマネ委･野尾	23	20
R7.8.29	認知症ケア研修	BPSD25Qの理解	認知症ケアチーム	19	31
R7.9.25.26	口腔ケア研修会	歯磨き･口のマッサージ等	DCC滝内DDr	34	18
R7.9.30	リスマネ研修	事故報告書の書き方	リスマネ委	21	36
R7.10.9	排せつケア研修	陰部洗浄の仕方	森看護師長	15	28
R7.10.16	救急救命講習会	救急救命(心肺蘇生法他)	圏域消防団	16	
R7.11.28	感染症予防研修(訓練)	ノロウイルス対策他	森看護師長･野尾課長	16	33
R7.12.7	合同防災訓練(BCP)	地域からの避難	高倉分団他	7	
R7.12.26	新任者リフト研修	リフトの基本操作	OT･PT	4	
R8.1.4	新任者感染症対策研修	PPE、手洗い等基本の感染対策	森看護師長	4	
R8.1.23	新任者食事介助研修	食事、嚥下、食の介助	看護師長･栄養士	4	
R8.1.23	新任者排泄介助研修	排せつケア用品の仕様･手技	ユニ･チャーム	4	
R8.1.26	新任者リフト研修	リフトの基本操作	OT･PT	1	
R8.1.30	看取りケア研修	看取りケアの基本	森看護師	20	33
R8.2.17	新任者リフト研修	リフトの基本操作	OT･PT	1	
R8.2.18	排せつケア研修	排せつケア用品の仕様･手技	ユニ･チャーム	4	
R8.3.1	新任者リフト研修	リフトの基本操作	OT･PT	1	
R8.3.25	新任者リフト研修	リフトの基本操作	OT･PT	1	

※ 公開セミナー

日　程	研　修　会　名	内容	講師	職員参加	外部参加
R7.5.7	ベッド上の食事姿勢	ベッド上食事姿勢の実技	ＥＮ株式会社	9	33
R7.7.9	車いす姿勢とクッションの活用	各種車椅子と専用クッションの機能体験	(株)リョーキ	13	4
R7.7.24	車いすシーティングの基礎	車いすの基礎知識･姿勢崩れ対応	ＥＮ株式会社	5	20
R7.10.8	車いすシーティングセミナー	車いす選びのポイント、姿勢保持	ＥＮ株式会社	4	13
R7.12.10	ポジショニングセミナー	拘縮等課題のある方のポジショニング	ＥＮ株式会社	4	29
R8.2.19	ポジショニングセミナー	安楽と機能向上に向けたポジショニング	ＥＮ株式会社	1	4

※ 実習等

日　　程	施設等名	日数	人数	学　校　・　機　関　等
R7.5.14	実務者研修介護実習	1	2	北部高等技術専門校
R7.5.26-6.13	介護福祉実習（３年生）	15	3	美作高校
R7.6.14-15	福祉職場インターンシップ（津山高校３年生）	2	1	県社協

※ 求人

日　程	催事等名	参加者名	人数	場　　所	主催
R7.9.20	福祉の仕事地域のミニ就職フェア	野尾徳子	1	雇用労働センター	岡山県福祉人材センター
R7.11.13	介護就職デイ	仁木　潤	1	雇用労働センター	津山公共職業安定所

【表彰等】

介護職員の働きやすい職場づくり厚生労働大臣表彰　奨励賞	厚生労働省
将来世代応援企業　最優秀賞	将来世代応援知事同盟
おかやまDX経営力大賞　優秀賞	システムエンジニアリング岡山
全国老人福祉施設大会･研究会議　実践研究発表　優秀賞	全国老人福祉施設協議会
くるみん認定	厚生労働省

【関係団体等への協力】

岡山県社会福祉法人経営者協議会	役員としての参画･協力	solution課長
岡山県社会福祉法人経営青年会	役員としての参画･協力	solution課長
岡山県老人福祉施設協議会	役員としての参画･協力	施設長
岡山県老人福祉施設協議会	研修委員会　委員長	施設長
岡山県老人福祉施設協議会	デイサービス部会　幹事	solution課長
岡山県老人福祉施設協議会	次世代委員会　幹事	solution課長
岡山県老人福祉施設協議会	岡山県　介護現場革新会議	施設長
岡山県老人福祉施設協議会	岡山県社会福祉協議会　社会福祉経営支援委員会	施設長
全国老人福祉施設協議会	生産性向上推進委員会　委員	施設長
津山市	高齢者保健福祉･介護保険事業運営協議会　委員	施設長
津山市	地域ケア個別会議　助言者	作業療法士
津山市	見守り協定事業所連絡会　協力事業所	事務局長
津山市介護保険事業者連絡協議会	役員としての参画･協力	施設長
津山商工会議所	医療福祉部会　幹事	施設長
岡山県社会福祉士会	実習指導者養成研修委員会　委員	solution課長
高倉自主防災防犯会	推進員	事務局長

＜別紙2＞　**令和７年度　ユニット報告**

《ユニット3・4》

『チーム力を高めて、入居者一人ひとりの暮らしをサポートします』を重点目標として
１年間ユニットスタッフで取り組みました。

- 心身共に活き活きと生活できるように、個々にあった余暇活動や行事参加に努めました。
- 感染対策の為、１ケア１手洗い、毎日の検温を実施し健康管理に努めました。
- 眠りスキャンを活用し、専門職に相談しながら事故防止や健康管理等、入居者の状態変の早期発見に努めました。
- ユニットミーティングは毎月開催日を予定しているができない時があり、職員間で情報共有、意見交換を行い、ケアの質の向上に努めました。

ユニット費　　行事用（工作材料など）　　2，000円／月
　　日用雑貨　　3，000円／月

《ユニット５・６》

『入居者の身体機能や個性に応じて、「自分らしく心豊かに暮らせる」ようサービスの質の向上を図ります」を重点目標として、1年間ユニットスタッフで取り組みました。

- ご本人の意見を尊重して、「出来ること」「出来ないこと」を見極めながらサポートを行いました。
- 日々の健康観察で心身状態を把握して、異常時の早期発見と対応に努めました。他職種と連携を図りながら協同で支援に当たりました。
- 他者との関りで会話の機会を増やしたり、一人一人に合わせた手作業を行って頂きました。行事やレクリエーションへの参加を促して、楽しみのある生活が送れるように支援をしました。

- 24Hシートや日常生活プランに合わせて、チームで統一したケアが出来るように努めました。

- 面会時には、ご家族に日ごろの様子をお伝えすることが出来ました。
- 細やかに、「報告・連絡・相談」が出来るように、チーム体制の強化を図りました。
- 施設内外の研修に参加し、他職員に伝達や協力体制を得ることが出来ました。
- 人材が育成できるように、知識や技術を習得し自己研鑽に努めました。指導能力の弱さが目立ちました。

令和７年度ユニット費用（ユニット５・６共有）

- 事務・消耗品等　　約１０００円～２０００円/月
- 掃除用品　　約１０００円～２０００円/月
- レクリエーション費　　約１０００円～３０００円/月

《ユニット７・８》

『ユニットケアの更なる向上を目指し、個々に寄り添ったケアの実現』を重点目標として１年間ユニットスタッフで取り組みました。

- 新規入居や退院された方にも体調に応じてユニットレクや体操へ積極的に参加を勧め、活動への参加をしていただきました。
- 日々、顔色やご様子を観察し、変化や気づきを多職種に相談しました。
- 役割を持っていただけるよう関わり、無理なく継続していただいています。
- 生活リズムの把握に努め、入居者の生活がより良くなるよう支援しました。

ユニット費　　行事用（工作材料など）　　１，000円／月
　　日用雑貨　　２，000円／月

《ユニット９・１０》

『入居者が健康で安心した生活が送れるケアを目指します』を重点目標として、1年間取り組みました。

- 入居者一人ひとりの個性やニーズに合わせたケアを提供することで個別ケアを実現出来るよう努めました。
- ユニットミーティングを行い、意見交換と情報共有をすることで、統一したケアをチームで行えるよう努めました。
- 新人や外国人スタッフの育成を丁寧に行いました。
- スタッフ一人ひとりが日々の生活の中で振り返りを行い、思いやりを持ってケアを行うよう努めました。
- ITC機器を活用し、情報共有、多職種との連携を行い、入居者が安心して生活できるように努めました。
- 認知症の理解を深め、認知症の人の尊厳を保持したその人らしい暮らしの実現に努めました。
- メモリーケア（精神科医療養指導）を活用し、アドバイスを受け、ケアに活かした。

令和7年度ユニット費用（ユニット９・１０共有）

- 行事用、アクティビティ用材料（工作材料・本など）　約１０００円／月
- 掃除、家具家電　約３，０００円／月
- し好品（行事用）　約８００円／月
- 季節室内装飾等　　約５００円／月

＜別紙３＞　**令和７年度　委員会活動報告**

○ ケア向上委員会

『排泄・褥瘡予防チーム』

〈排泄〉

- 身体機能や生活の変化に合わせて、一人ひとりの排泄ケアを見直しして、その人に合ったケアの改善が図れました。
- 排泄支援計画書の作成や定期的な見直しをしました。

〈褥瘡〉

- ブレーデンスケールやOHスケールを使用して、褥瘡発生のリスク評価を継続して行いました。また、結果を共有して発生予防に努めました。
- 基本のケアを大切にして、皮膚トラブルが発生しないように日々のケアを再確認しました。
- 下肢の傷などのトラブルを減らして、下肢の運動の推進や爪切りをしました。
- ケアプランをもとに褥瘡対策ケア計画書の作成やスクリーニングを理解し、計画書が実践できるように取り組みました。

チーム会議開催：月１回　　6～11名参加

○ 認知症ケアチーム

- 認知症ケアの質向上を目的として、BPSD25Qおよび認知症ワークシートを活用しながら、個別性のあるケアを検討し、実践しました。
- 委員会活動および施設内研修を通して、認知症ケアに対する理解が深まり、BPSDの評価方法やワークシートの活用について職員への周知を図りました。
- メモリーケア（精神科医療養指導）を活用し、専門医からの助言を受けて、その内容を委員会活動や実際のケアへ反映することができました。
- ケア会議やユニットミーティングを通して実践内容の振り返りを行い、多職種での情報共有とケアの統一を行いました。事例についても委員会内で共有し、施設全体としてのケアの質向上に努めました。

メモリーケア　実施件数：24件（相談人数延べ25人）

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
相談人数	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	25

委員会開催：月1回　　研修会開催：1回

○看取りケアチーム

- 看取り診断がスムーズに行えるように努めた
- ご本人、ご家族の意向について、意向の把握と意向に沿ったケアの実施の方法について検討した

- 各専門職と振り返りカンファレンスを開催して、今後のケアに活かせられる様取り組んだ
- ご家族を交えてのグリーフケアの実施ができなかった場合には、専門職やチームで開催をした
- 看取り診断から振り返りカンファレンス迄の経過が把握できるように、一覧表を作成した
- 『看取りにケアについて』の理解を深める為、研修会を開催した　R8年1／30
- 委員会開催回数：11回

振り返りカンファレンスの開催

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3名

グリーフケアの開催

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数			13				7	0	0	0	0	0	20名

○ アクティビティチーム

「生活意欲の向上や、楽しみ・喜びの持てる充実したアクティビティを計画する」と目標を立てて、委員会メンバーを中心に、各課、ユニットの協力のもと活動しました。

書道クラブでの力作を今年も地域の文化展に出展しました。

『いきいき菜園』では、今年も野菜作りに挑戦して、成長から収穫までを楽しみ、高寿園カレーとして入居者・職員とも美味しく頂きました。

また、入居者がプランターでミニトマトの苗植えから成長を楽しみ、収穫をして味を楽しみました。

定期的なクラブ活動が増え、新たな企画も増えました。
紅葉ドライブでは、車窓から見える景色で話もはずみ表情も生き生きとしていました。

チーム活動以外にも、多くの施設行事（寿司ボランティア、フラワーアレンジメント、新緑茶会等）を受け持ち活動しました。

ｸﾗﾌﾞ・行事企画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
書道	21	17	17	20	18	16	20	21	18	21	17	16	222
おとらくの会				28	26	34	32		39	36	38	28	261
生き生き菜園	2	8	8	4				5					27
カラオケ喫茶			43	36		34	28			39		30	210
高倉文化展作品出品								6					6
手芸クラブ				9					8		9		26
わいわいクラブ		12	13	12			11						48
ｸﾗﾌﾞ・行事企画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ドライブ								18					18

- 手芸クラブ…七夕かざり、クリスマスリース、雛人形
- 生き生き菜園…玉ねぎ、じゃがいも、さつまいも

アクティビティチーム会議：月1回開催　　7～10名出席